

令和5年8月16日
宮古島市 要請活動

宮古毎日新聞
2023年8月17日掲載

会員の積極的活用を

県農林水産
土木建設会

市に5項目を要請

県農林水産土木建設会（手巻根明会長）理事の平良正樹氏と専務理事兼事務局長で同会賛助会の会長も務める玉城眞氏らが16日、市役所を訪れ、同会会員の積極的活用や公共工事の品質確保、2024年度の農林水産業基盤整備予算の増額など計5項目について市に取組みを求める要請書を嘉数登副市長に手渡した。

要請書では、①市発注工事の指名競争入札等での同会会員と賛助会員の積極的活用②工事の積算単価が実

際の取り引き単価と乖離（かいら）を生じさせないことや発注体制の組織強化と、発注や施工時期の平準化に努めるなどの公共工事の品質確保③市の農林水産業の基盤整備等を計画的に実施するための24年度予算の増額④働き方改革推進と物価上昇等に対応するための最低制限価格の引き上げ⑤発注に当たった適切な工期設定と発注、施工時期の平準化、労働時間の是正に努めることと、有資格者を指名業者とし

て選定すること―に積極的
的に取組むよう求めて
いる。

今回の要請は同会と賛助



嘉数副市長（右から3人目）に要請書を手渡す平良理事（中央）、と賛助会の玉城会長（左から3人目）ら=16日、市役所

会の両会長の連名で座喜味一幸市長に対し求めているもので、要請のうち①から④は同会、⑤は賛助会からの要請となっている。

市役所を訪れた平良理事氏は要請内容を読み上げた後、嘉数副市長に要請書を手渡した。

嘉数副市長は要請項目について、市長に報告して対応する考えを示した上で「工事の積算単価と実際の取り引き単価との乖離は全国的に問題が生じている。しっかりと検証しながら取り組んでいきたい。ぜひ皆さんと一緒に進めていければと思っています」との考えを示した。